

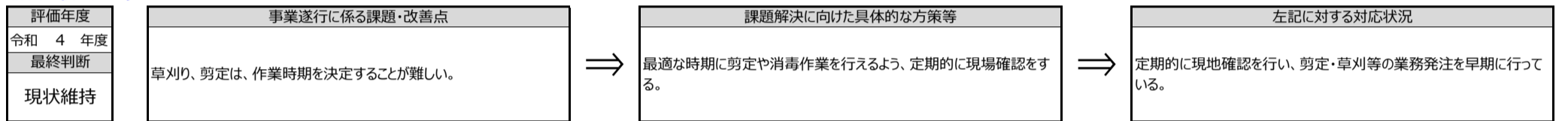
事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 8 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	街路樹等管理事業			会計区分	1	一般会計			所管部署	土木管理課							
事業番号	3480			予算科目	8 款 2 項 2 目 土木費			シート入力	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度						
評価の種別	□ 詳細評価 □ 簡易評価（事業の概要・結果のみ）			事業区分	施設維持管理等事業			所属長名	武智	武智	武智						
総合計画での位置づけ	基本目標	快適空間都市の創造			担当責任者	高井	小西	小西									
根拠法令等	基本施策	人に優しい道路・交通体系づくり			事務担当者	西本	西本	西本									
関係する計画等	道路法																
事業の目的【ゴール】	対象	通行者															
目指すべき姿を簡潔に	意図	街路樹等を常に良好な状態にし、道路利用者が安心して通行できるよう道路の機能を維持する。						事業開始年度	□ 平成 18 年度 □ 令和 ※合併前からの継続事業は平成17年度と入力								
事業内容【アクティビティ】	委託による街路樹等の剪定・除草・消毒・施肥等						事業終了年度(予定)	令和	年度(予定)		□ 設定なし						
事業の実施方法	□ 直営 □ 一部委託 □ 全部委託 □ 指定管理 □ 補助金・負担金等 □ その他 ()																
本事業とSDGs(持続可能な開発目標)との関連性	□ ゴール1 貧困をなくそう	□ ゴール2 飢餓をゼロに	□ ゴール3 すべての人に健康と福祉を	□ ゴール4 質の高い教育をみんなに	□ ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	□ ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	□ ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	□ ゴール8 働きがいも経済成長も	□ ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう	□ ゴール10 人や国の不平等をなくそう	□ ゴール11 住み続けられるまちづくりを	□ ゴール12 つくる責任つかう責任	□ ゴール13 気候変動に具体的な対策を	□ ゴール14 海の豊かさを守ろう	□ ゴール15 陸の豊かさを守ろう	□ ゴール16 平和と公正をすべての人に	□ ゴール17 パートナースHIPで目標を達成しよう

前回評価の振り返り



事業活動への投入コスト・人員(インプット)

予算額・執行額及び財源内訳 (千円)

事業費の内訳

項目	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 要求	節	細節	事業費 (千円)				摘要 ※代表的なものを簡潔に	
							R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 要求		
当初予算	1,990	2,190	2,290		例年支出のあるもの	需用費	消耗品費	19	10	10		
補正予算						需用費	燃料費	0	0	0		
前年度から繰越						委託料		1,764	2,040	2,172		
予備費等						原材料費		0	0	0		
計	1,990	2,190	2,290	0								
決算執行額	1,783	2,050	2,182									
翌年度へ繰越												
財源内訳												
国庫支出金												
県支出金												
地方債												
その他												
一般財源	1,783	2,050	2,182									
執行率 (%)	89.6%	93.6%	95.3%									
正規職員の人工数	0.71	0.71	0.71									
1人当たりの人件費単価	7,765	7,895	7,973	※予算ベース								
※執行額+人件費	7,296	7,655	7,843									
予算執行状況の特記事項 執行率70%以下の場合には必須その理由等を簡潔に入力					臨時なもの							
事業費の総計							1,783	2,050	2,182	0		

事業活動の実績(アウトプット)

事業活動の成果(アウトカム)

活動指標	項目	単位	目指す方向性	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	事業遂行に係る工夫点・事業成果	事業遂行に係る課題・改善点	課題解決に向けた方策等
指標②								草刈り、剪定は、作業時期を決定することが難しい。	
指標③									委託業務内容を作業別に分けて、まとめて委託するようにして合理性を図る。
指標④									

※ 目指す方向性が「-」の指標は、「事業把握のための実数」が入力されています。

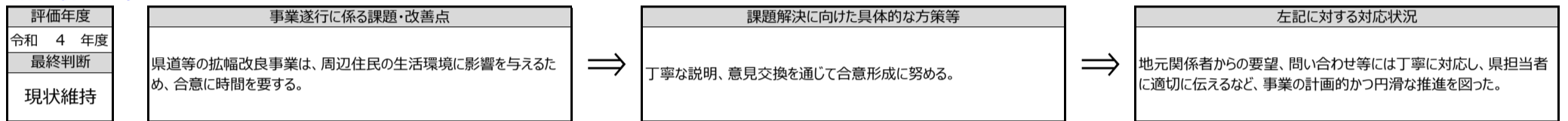
事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 8 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	県営事業負担金事務			会計区分	1	一般会計		所管部署	土木管理課		
事業番号	3510			予算科目	8 款 2 項 4 目		土木費	シート入力	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度
評価の種類	□ 詳細評価 □ 簡易評価（事業の概要・結果のみ）			事業区分	政策的事業【義務】			所属長名	武智	武智	武智
総合計画での位置づけ	基本目標	快適空間都市の創造		基本施策	人に優しい道路・交通体系づくり			担当責任者	高井	小西	小西
根拠法令等	愛媛県土木建設事業負担金条例第22条							事務担当者	高井	小西	小西
関係する計画等											
事業の目的【ゴール】	対象	道路利用者		意図	愛媛県が実施する県道等の拡幅改良事業及び交通安全対策事業に要する負担金を支出し、市内における県道等の利便性向上及び交通安全の確保を図る。			事業開始年度	□ 平成 17 年度 □ 令和 ※合併前からの継続事業は平成17年度と入力		
事業内容【アクティビティ】	具体的な内容、どのような方法で実施しているのか			愛媛県土木建設事業負担金条例第22条に基づき、市内における県道拡幅改良事業等に要した事業費の7%を負担する。				事業終了年度(予定)	令和	年度(予定) □ 設定なし	
事業の実施方法	□ 直営 □ 一部委託 □ 全部委託 □ 指定管理 □ 補助金・負担金等 □ その他 ()										
本事業とSDGs(持続可能な開発目標)との関連性	□ ゴール1	貧困をなくそう	□ ゴール7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	□ ゴール13	気候変動に具体的な対策を		□ ゴール14	海の豊かさを守ろう		
	□ ゴール2	飢餓をゼロに	□ ゴール8	働きがいも経済成長も	□ ゴール14	海の豊かさを守ろう		□ ゴール15	陸の豊かさを守ろう		
	□ ゴール3	すべての人に健康と福祉を	□ ゴール9	産業と技術革新の基盤をつくろう	□ ゴール15	陸の豊かさを守ろう		□ ゴール16	平和と公正をすべての人に		
	□ ゴール4	質の高い教育をみんなに	□ ゴール10	人や国の不平等をなくそう	□ ゴール16	平和と公正をすべての人に		□ ゴール17	パートナーシップで目標を達成しよう		
	□ ゴール5	ジェンダー平等を実現しよう	□ ゴール11	住み続けられるまちづくりを							
	□ ゴール6	安全な水とトイレを世界中に	□ ゴール12	つくる責任つかう責任							

前回評価の振り返り



事業活動への投入コスト・人員【インプット】

予算額・執行額及び財源内訳（千円）

事業費の内訳

項目	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 要求	節	細節	事業費（千円）				摘要 ※代表的なものを簡潔に			
							R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 要求				
当初予算	9,100	9,100	7,770	9,520	例年支出のあるもの	負担金・補助及び交付金	負担金	8,145	4,700	8,182	9,520	県営道路事業負担金		
補正予算		▲ 3,967	850											
前年度から繰越														
予備費等														
計	9,100	5,133	8,620	9,520										
決算執行額	8,145	4,700	8,182											
翌年度へ繰越														
財源内訳														
国庫支出金														
県支出金														
地方債														
その他														
一般財源	8,145	4,700	8,182	9,520										
執行率（%）	89.5%	91.6%	94.9%											
正規職員の人工数	0.01	0.01	0.01											
1人当たりの人件費単価	7,765	7,895	7,973	※予算ベース										
※執行額+人件費	8,223	4,779	8,262											
予算執行状況の特記事項 執行率70%以下の場合には必須その理由等を簡潔に入力														
事業費の総計								8,145	4,700	8,182	9,520			

事業活動の実績【アウトプット】

事業活動の成果【アウトカム】

活動指標	項目	単位	目指す方向性	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	事業遂行に係る工夫点・事業成果	事業遂行に係る課題・改善点	課題解決に向けた方策等
指標②							事業遂行に係る課題・改善点	事業実施にあたり、用地交渉等の難航により事業進捗が遅延している。	
指標③							課題解決に向けた方策等	事業の進捗状況を地元へ都度説明する機会を設け、必要に応じて地元から交渉手伝いをするなどの支援を受ける。	
指標④									

※ 目指す方向性が「-」の指標は、「事業把握のための実数」が入力されています。

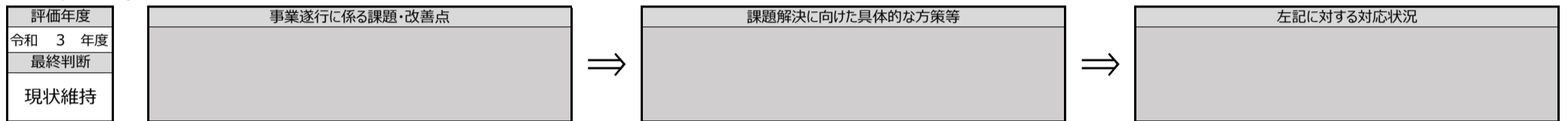
事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 8 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	国勢調査事業		会計区分	1	一般会計	所管部署	企画振興部企画政策課										
事業番号	770		予算科目	2 款 5 項 2 目 総務費		シート入力	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度								
評価の種別	□ 詳細評価 □ 簡易評価 (事業の概要・結果のみ)		事業区分	政策的事業【義務】			所属長名	向井	北岡	谷仲							
総合計画での位置づけ	基本目標	参画協働推進都市の創造			基本施策	効率的で透明性の高い行財政運営			担当責任者	木下	木下	木下					
根拠法令等	統計法 (平成19年法律第53号)																
関係する計画等																	
事業の目的【ゴール】	対象	伊予市に住んでいる全ての人と世帯を対象とする。															
目指すべき姿を簡潔に	意図	人口、世帯、産業構造等について調査を行い、国及び地方公共団体における各種行政施策その他の基礎資料を得ることを目的とする。															
事業内容【アクティビティ】	県知事が任命した調査員が居宅を訪問し、調査票の記入依頼・回収を行う。5年に一度、10月1日を基準日として、実施される。																
事業の実施方法	□ 直営 □ 一部委託 □ 全部委託 □ 指定管理 □ 補助金・負担金等 □ その他 ()																
本事業とSDGs (持続可能な開発目標) との関連性	□ ゴール1 貧困をなくそう	□ ゴール2 飢餓をゼロに	□ ゴール3 すべての人に健康と福祉を	□ ゴール4 質の高い教育をみんなに	□ ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	□ ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	□ ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	□ ゴール8 働きがいも経済成長も	□ ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう	□ ゴール10 人や国の不平等をなくそう	□ ゴール11 住み続けられるまちづくりを	□ ゴール12 つくる責任つかう責任	□ ゴール13 気候変動に具体的な対策を	□ ゴール14 海の豊かさを守ろう	□ ゴール15 陸の豊かさを守ろう	□ ゴール16 平和と公正をすべての人に	□ ゴール17 パートナースHIPで目標を達成しよう

前回評価の振り返り



事業活動への投入コスト・人員【インプット】

予算額・執行額及び財源内訳 (千円)

事業費の内訳

項目	R 5 実績 R 6 実績 R 7 実績 R 8 要求				節	細節	事業費 (千円)				摘要 ※代表的なものを簡潔に	
	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 要求			R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 要求		
当初予算	3	248	20,573		需用費	消耗品費		27	188		調査区設定の事務に係る消耗品	
補正予算					役務費	通信運搬費		1	54		郵送代金	
前年度から繰越					報酬	非常勤報酬			13,524			
予備費等					報酬	会計年度任用職員報酬			3,757			
計	3	248	20,573	0	職員手当等				1,815			
執行額	0	28	20,499		旅費				55			
翌年度へ繰越					委託料				238			
国庫支出金					使用料及び賃借料				868			
県支出金	0	28	20,499									
地方債												
その他												
一般財源												
執行率 (%)	0.0%	11.3%	99.6%									
正規職員の人工数	0.10	0.20	1.00									
1人当たりの人件費単価	7,794	7,765	7,895	※予算ベース								
※ 執行額+人件費	779	1,581	28,394									
予算執行状況の特記事項	R5、R6：今までは調査区設定時に紙の住宅地図を購入していたが、WEBで使用できる住宅地図が各課に設けられているため、今回から購入を行わなかった。また、大幅な調査区変更がなかったため、調査区設定に必要な消耗品の購入・県とのやり取りに必要な郵送費が少なく済んだ。				事業費の総計							
								0	28	20,499	0	

事業活動の実績【アウトプット】

事業活動の成果【アウトカム】

活動指標	指標	項目	単位	目指す方向性	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	事業遂行に係る工夫点・事業成果	事業遂行に係る課題・改善点	課題解決に向けた方策等
活動指標	①	調査区数	調査区	—		283	283	事業遂行に係る工夫点・事業成果	適正な事務執行に努めた。	
	②							事業遂行に係る課題・改善点		
	③									
	④									

※ 目指す方向性が「-」の指標は、「事業把握のための実数」が入力されています。

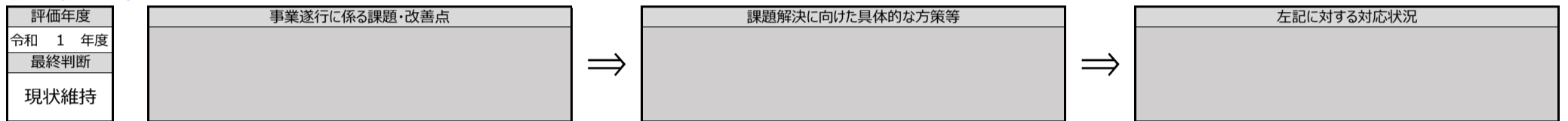
事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 8 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	農林業センサス統計調査事業			会計区分	1	一般会計	所管部署	企画振興部企画政策課									
事業番号	779			予算科目	2 款 5 項 2 目 総務費		シート入力	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度							
評価の種別	□ 詳細評価 □ 簡易評価（事業の概要・結果のみ）			事業区分	政策的事業【義務】		所属長名	向井	北岡	谷仲							
総合計画での位置づけ	基本目標	参画協働推進都市の創造		基本施策	効率的で透明性の高い行財政運営		担当責任者	木下	木下	木下							
根拠法令等	統計法(平成19年法律53号)、農林業センサス規則(昭和44年農林省令第39号)等																
関係する計画等																	
事業の目的【ゴール】	対象	農林業従事者		意図	農林業の生産構造、就業構造を明らかにすることで、農山村の実態を総合的に把握する。		事業開始年度	平成 5 年度 □ 令和 ※合併前からの継続事業は平成17年度と入力									
事業内容【アクティビティ】	県知事が任命した調査員が調査客体を訪問し、調査票の記入依頼、回収を行う。5年に一度、2月1日を基準日として実施される。																
事業の実施方法	□ 直営 □ 一部委託 □ 全部委託 □ 指定管理 □ 補助金・負担金等 □ その他 ()																
本事業とSDGs(持続可能な開発目標)との関連性	□ ゴール1 貧困をなくそう	□ ゴール2 飢餓をゼロに	□ ゴール3 すべての人に健康と福祉を	□ ゴール4 質の高い教育をみんなに	□ ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	□ ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	□ ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	□ ゴール8 働きがいも経済成長も	□ ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう	□ ゴール10 人や国の不平等をなくそう	□ ゴール11 住み続けられるまちづくりを	□ ゴール12 つくる責任つかう責任	□ ゴール13 気候変動に具体的な対策を	□ ゴール14 海の豊かさを守ろう	□ ゴール15 陸の豊かさを守ろう	□ ゴール16 平和と公正をすべての人に	□ ゴール17 パートナースHIPで目標を達成しよう

前回評価の振り返り



事業活動への投入コスト・人員【インプット】

予算額・執行額及び財源内訳（千円）

事業費の内訳

項目	R 5 実績				R 6 実績				R 7 実績				R - 要求				節	細節	事業費（千円）				摘要 ※代表的なものを簡潔に			
	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R - 要求	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R - 要求	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R - 要求	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R - 要求										
予算	当初予算	6	5,172	29													報酬	非常勤報酬		4,112				調査員・指導員報酬		
	補正予算																職員手当等		109					時間外手当		
	前年度から繰越																需用費	消耗品費	1	28				農林業センサス用事務用品		
	予備費等																役務費	通信運搬費		40		7		郵送代		
	計	6	5,172	29	0												使用料及び賃借料		12					地域事務所等使用料		
決算	執行額	1	4,301	7													旅費									
	翌年度へ繰越																									
	国庫支出金																									
	県支出金	1	4,301	7																						
	地方債																									
財源内訳	その他																									
	一般財源																									
	執行率（%）	16.7%	83.2%	24.1%																						
	正規職員の人工数	0.10	0.50																							
	1人当たりの人件費単価																									
※ 執行額+人件費	1	4,301	7																							
予算執行状況の特記事項	R5:農林業センサス準備費用として設けられていたが、ポスターの配布等を発送便で行ったため、準備にかかる費用が少なく済んだ。 R6:農林業センサス審査事務費として設けられていたが、PC上での審査であったため、審査に係る費用が少なく済んだ。												事業費の総計				1	4,301	7	0						

事業活動の実績【アウトプット】

事業活動の成果【アウトカム】

活動指標	指標	項目	単位	目指す方向性	R 5 実績			R 6 実績			R 7 実績			事業遂行に係る工夫点・事業成果	事業遂行に係る課題・改善点	課題解決に向けた方策等
					R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績			
活動指標	①	客体候補者数	件	—	-	3,119	-						事業遂行に係る工夫点・事業成果	適正な事務執行に努めた。調査実施は令和6年度であり、令和5年度は準備調査、令和7年度は事後処理の年度となる。		
	②	農林業経営体数	件	—	-	1,023	-					事業遂行に係る課題・改善点				
	③												課題解決に向けた方策等			
	④															

※ 目指す方向性が「-」の指標は、「事業把握のための実数」が入力されています。

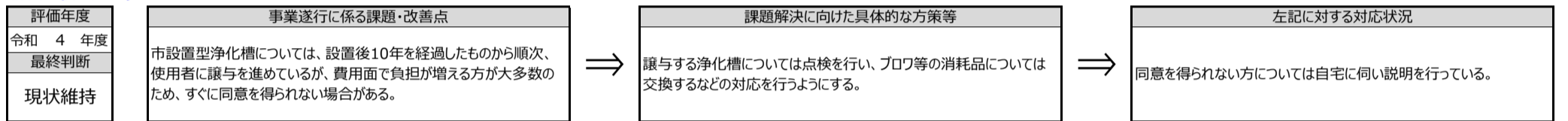
事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 8 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	(浄化)施設維持管理事業			会計区分	8	浄化槽整備特別会計			所管部署	上下水道課							
事業番号	8811			予算科目	1 款 1 項 1 目			シート入力	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度						
評価の種類	□ 詳細評価 □ 簡易評価(事業の概要・結果のみ)			事業区分	施設維持管理等事業			所属長名	長岡	長岡	長岡						
総合計画での位置づけ	基本目標	快適空間都市の創造		担当責任者	山田	山田	山田	事務担当者									
基本施策	潤いのある水環境づくり																
根拠法令等	浄化槽法、伊予市浄化槽の設置及び管理に関する条例																
関係する計画等	伊予市生活排水処理基本計画																
事業の目的【ゴール】	対象	伊予市浄化槽市町村整備推進事業により設置した浄化槽の使用者															
目指すべき姿を簡潔に	意図	市が設置した浄化槽において、使用者から使用料を徴収し、適正な維持管理に努めることにより、水質改善を図り、快適な生活環境の構築を実現する。															
事業内容【アクティビティ】	浄化槽の適正な機能保持のため、保守点検・清掃・法定検査等の維持管理を行う。また、浄化槽が故障した場合、市が委託契約を締結している業者によって修繕を行う。																
事業の実施方法	□ 直営 □ 一部委託 □ 全部委託 □ 指定管理 □ 補助金・負担金等 □ その他 ()																
本事業とSDGs(持続可能な開発目標)との関連性	□ ゴール1 貧困をなくそう	□ ゴール2 飢餓をゼロに	□ ゴール3 すべての人に健康と福祉を	□ ゴール4 質の高い教育をみんなに	□ ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	□ ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	□ ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	□ ゴール8 働きがいも経済成長も	□ ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう	□ ゴール10 人や国の不平等をなくそう	□ ゴール11 住み続けられるまちづくりを	□ ゴール12 つくる責任つかう責任	□ ゴール13 気候変動に具体的な対策を	□ ゴール14 海の豊かさを守ろう	□ ゴール15 陸の豊かさを守ろう	□ ゴール16 平和と公正をすべての人に	□ ゴール17 パートナーシップで目標を達成しよう

前回評価の振り返り



事業活動への投入コスト・人員(インプット)

予算額・執行額及び財源内訳(千円)

事業費の内訳

項目	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 要求	節	細節	事業費(千円)				摘要 ※代表的なものを簡潔に		
							R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 要求			
当初予算	7,084	6,245	4,512	3,440									
補正予算		▲ 1,000	▲ 1,000										
前年度から繰越													
予備費等													
計	7,084	5,245	3,512	3,440									
執行額	5,283	4,127	2,824										
翌年度へ繰越													
国庫支出金													
県支出金													
地方債													
その他	5,283	4,127	2,824	3,440									
一般財源													
執行率(%)	74.6%	78.7%	80.4%										
正規職員の人工数	0.40	0.40	0.40										
1人当たりの人件費単価	7,765	7,895	7,973	※予算ベース									
※執行額+人件費	8,389	7,285	6,013										
予算執行状況の特記事項 執行率70%以下の場合には必須その理由等を簡潔に入力													
					事業費の総計				5,283	4,127	2,824	3,440	

事業活動の実績(アウトプット)

事業活動の成果(アウトカム)

活動指標	項目	単位	目指す方向性	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	事業遂行に係る工夫点・事業成果	
							事業遂行に係る課題・改善点	課題解決に向けた方策等
指標①	管理基数	基	—	88	70	48	事業遂行に係る工夫点・事業成果	浄化槽のプロワが故障した場合に保守点検業者及び修繕業者と連携し、迅速に対応して適正な処理を行っている。
指標②	修繕件数	件	—	21	25	17	事業遂行に係る課題・改善点	市設置型浄化槽については、設置後10年を経過したことから順次、使用者に譲与を進めているが、同意を得られない方がいる。
指標③							課題解決に向けた方策等	定期的に連絡をとり、説明に伺うようにする。
指標④								

※ 目指す方向性が「-」の指標は、「事業把握のための実数」が入力されています。

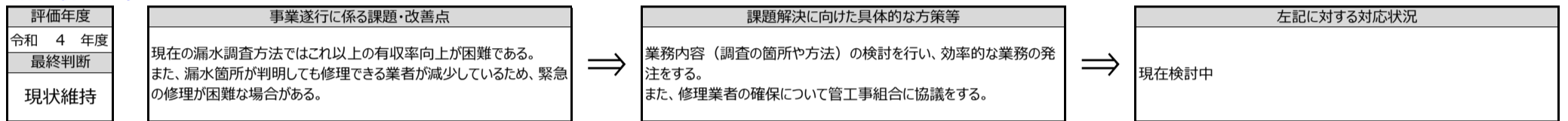
事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 8 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	(水道) 漏水調査事業			会計区分	88	水道事業会計			所管部署	水道部上下水道課							
事業番号	9904			予算科目	1 款 1 項 2 目			シート入力	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度						
評価の種別	□ 詳細評価 □ 簡易評価 (事業の概要・結果のみ)			事業区分	施設維持管理等事業			所属長名	長岡	長岡	長岡						
総合計画での位置づけ	基本目標	快適空間都市の創造		担当責任者	土居	土居	土居	事務担当者	土居	土居	土居						
根拠法令等	水道法			事業開始年度	□ 平成 17 年度 □ 令和 ※合併前からの継続事業は平成17年度と入力			事業終了年度 (予定)	令和	年度(予定) □ 設定なし							
関係する計画等	対象	市民 (上水道の利用者)		事業内容	上水道区域内の公道下に埋設している配水管及び給水管を踏査し、発生している漏水音を発見することで漏水箇所を特定し、修繕することによって安心安全につながる。												
事業の目的【ゴール】	意図	上水道区域内の公道下に埋設している配水管及び給水管を踏査し、発生している漏水音を発見することで漏水箇所を特定する。また、調査対象地区内の各戸の止水栓及び量水器からの漏水を発見する。															
事業内容【アクティビティ】	具体的な内容、どのような方法で実施しているのか																
事業の実施方法	□ 直営 □ 一部委託 □ 全部委託 □ 指定管理 □ 補助金・負担金等 □ その他 ()																
本事業とSDGs (持続可能な開発目標) との関連性	□ ゴール1 貧困をなくそう	□ ゴール2 飢餓をゼロに	□ ゴール3 すべての人に健康と福祉を	□ ゴール4 質の高い教育をみんなに	□ ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	□ ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	□ ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	□ ゴール8 働きがいも経済成長も	□ ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう	□ ゴール10 人や国の不平等をなくそう	□ ゴール11 住み続けられるまちづくりを	□ ゴール12 つくる責任つかう責任	□ ゴール13 気候変動に具体的な対策を	□ ゴール14 海の豊かさを守ろう	□ ゴール15 陸の豊かさを守ろう	□ ゴール16 平和と公正をすべての人に	□ ゴール17 パートナースHIPで目標を達成しよう

前回評価の振り返り



事業活動への投入コスト・人員【インプット】

予算額・執行額及び財源内訳 (千円)

事業費の内訳

項目	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 要求	節	細節	事業費 (千円)				摘要 ※代表的なものを簡潔に
							R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 要求	
当初予算	9,322	8,210	10,797	13,208	漏水調査業務						
補正予算											
前年度から繰越											
予備費等											
計	9,322	8,210	10,797	13,208							
執行額	8,250	7,700	7,755								
翌年度へ繰越											
国庫支出金											
県支出金											
地方債											
その他											
一般財源	8,250	7,700	7,755	13,208							
執行率 (%)	88.5%	93.8%	71.8%								
正規職員の人工数	0.14	0.14	0.14								
1人当たりの人件費単価	7,765	7,895	7,973	※予算ベース							
※ 執行額+人件費	9,337	8,805	8,871								
予算執行状況の特記事項 執行率70%以下の場合には必須その理由等を簡潔に入力											
事業費の総計							8,250	7,700	7,755	13,208	

事業活動の実績【アウトプット】

事業活動の成果【アウトカム】

活動指標	項目	単位	目指す方向性	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	事業遂行に係る工夫点・事業成果	
							事業遂行に係る課題・改善点	課題解決に向けた方策等
指標①	有収率 = 年間有収水量 / 年間総配水量 × 100	%	→	85.7%	84.2%	84.0%	漏水箇所が判明しても修理できる業者が減少しているため、緊急の修理が困難な場合がある。	
指標②							現在の漏水調査方法ではこれ以上の有収率向上が困難である。また、漏水箇所が判明しても修理できる業者が減少しているため、緊急の修理が困難な場合がある。	
指標③							業務内容 (調査の箇所や方法) の検討を行い、効率的な業務の発注をする。また、修理業者の確保について管工事組合に協議をする。	
指標④								

※ 目指す方向性が「-」の指標は、「事業把握のための実数」が入力されています。

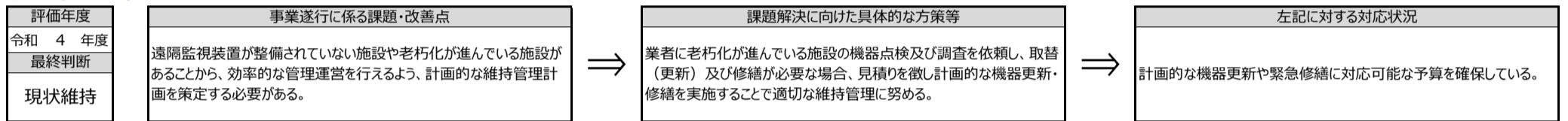
事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 8 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	(簡水) 配水及び給水維持管理事業			会計区分	88	水道事業会計			所管部署	水道部 上下水道課		
事業番号	9942			予算科目	2 款 1 項 2 目			シート入力	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	
評価の種別	□ 詳細評価 □ 簡易評価(事業の概要・結果のみ)			事業区分	施設維持管理等事業			所属長名	長岡	長岡	長岡	
総合計画での位置づけ	基本目標	快適空間都市の創造		担当責任者	中沖	堀内	堀内	事務担当者				
根拠法令等	水道法			意図	双海・中山地区の簡易水道区域において、施設の適切な維持管理を実施することにより、安定的な水の供給を行う。			事業開始年度	□ 平成 17 年度 □ 令和 ※合併前からの継続事業は平成17年度と入力			
関係する計画等	事業の目的【ゴール】	対象	市民(簡易水道の利用者)		事業終了年度(予定)	令和 年度(予定)		事業内容【アクティビティ】	具体的な内容、どのような方法で実施しているのか			
事業の実施方法	□ 直営 □ 一部委託 □ 全部委託 □ 指定管理 □ 補助金・負担金等 □ その他 ()	事業内容			双海・中山地区の簡易水道施設(豊田・中山・佐礼谷・村中・永木)の各ポンプ場及び配水管等において、生活用水の安定供給に資することを目的に適切な機器の維持管理を行う。			事業終了年度(予定)			□ 設定なし	
本事業とSDGs(持続可能な開発目標)との関連性	<input type="checkbox"/> ゴール1 貧困をなくそう <input type="checkbox"/> ゴール2 飢餓をゼロに <input type="checkbox"/> ゴール3 すべての人に健康と福祉を <input type="checkbox"/> ゴール4 質の高い教育をみんなに <input type="checkbox"/> ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう <input checked="" type="checkbox"/> ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	<input type="checkbox"/> ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに <input type="checkbox"/> ゴール8 働きがいも経済成長も <input type="checkbox"/> ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう <input type="checkbox"/> ゴール10 人や国の不平等をなくそう <input checked="" type="checkbox"/> ゴール11 住み続けられるまちづくりを <input type="checkbox"/> ゴール12 つくる責任つかう責任	<input type="checkbox"/> ゴール13 気候変動に具体的な対策を <input type="checkbox"/> ゴール14 海の豊かさを守ろう <input type="checkbox"/> ゴール15 陸の豊かさを守ろう <input type="checkbox"/> ゴール16 平和と公正をすべての人に <input checked="" type="checkbox"/> ゴール17 パートナーシップで目標を達成しよう									

前回評価の振り返り



事業活動への投入コスト・人員(インプット)

予算額・執行額及び財源内訳(千円)

事業費の内訳

項目	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 要求	節	細節	事業費(千円)				摘要 ※代表的なものを簡潔に
							R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 要求	
当初予算	5,331	4,647	7,920	6,156			108	126	121	150	配水池電灯代
補正予算							293	504	333	534	配水池草刈代
前年度から繰越							1,496	2,457	3,786	3,577	配水施設・配水管修繕費
予備費等							978	1,119	1,127	1,224	配水設備電気代
計	5,331	4,647	7,920	6,156			152	99	191	233	公用車がソリン代
執行額	3,294	4,641	5,951				185	192	192	204	配水池電話代
翌年度へ繰越							82	144	201	234	
国庫支出金											
県支出金											
地方債											
その他											
一般財源	3,294	4,641	5,951	6,156							
執行率(%)	61.8%	99.9%	75.1%								
正規職員の人工数	0.54	0.54	0.54								
1人当たりの人件費単価	7,765	7,895	7,973	※予算ベース							
※執行額+人件費	7,487	8,904	10,256								
予算執行状況の特記事項 執行率70%以下の場合には必須その理由等を簡潔に入力	R5:配水管漏水修理及び配水施設に係る修繕費の支出が抑えられたため。										
事業費の総計							3,294	4,641	5,951	6,156	

事業活動の実績(アウトプット)

事業活動の成果(アウトカム)

活動指標	項目	単位	目指す方向性	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	事業遂行に係る工夫点・事業成果	
							事業遂行に係る課題・改善点	課題解決に向けた方策等
指標①	維持管理費(配水・給水にかかる直接事業費)÷給水収益×100	%	→	11	14	20	職員が施設巡回点検や日常のロガー監視による状況把握を行うとともに、施設管理組合と情報を共有することにより、水質事故の未然防止及び緊急時の適切な対応を図っている。	
指標②							遠隔監視装置が整備されていない施設や老朽化が進んでいる施設があることから、効率的な管理運営を行えるよう、計画的な維持管理計画を策定する必要がある。	
指標③							業者に老朽化が進んでいる施設の機器点検及び調査を依頼し、取替(更新)及び修繕が必要な場合、見積りを徴し計画的な機器更新・修繕を実施することで適切な維持管理に努める。	
指標④								

※ 目指す方向性が「-」の指標は、「事業把握のための実数」が入力されています。

事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 8 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	小学校空調和設備設置事業			会計区分	1	一般会計	所管部署	学校教育課		
事業番号	4339			予算科目	10 款 2 項 3 目 教育費		シート入力	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度
評価の種別	□ 詳細評価 □ 簡易評価（事業の概要・結果のみ）			事業区分	施設維持管理等事業		所属長名	谷仲	谷仲	小笠原
総合計画での位置づけ	基本目標	生涯学習都市の創造		担当責任者	福岡	中塚	中塚	水野	水野	水野
根拠法令等	基本施策	学校教育環境の整備・充実		事務担当者						
関係する計画等	伊予市公共施設個別施設計画			事業開始年度	平成 17 年度		令和			※合併前からの継続事業は平成17年度と入力
事業の目的【ゴール】	対象	児童		事業終了年度(予定)	令和	年度(予定)	□ 設定なし			
意図	快適な環境の提供									
事業内容【アクティビティ】	具体的な内容、どのような方法で実施しているのか									
	小学校9校 153室 事業者のDBO方式による維持管理									
事業の実施方法	□ 直営 □ 一部委託 □ 全部委託 □ 指定管理 □ 補助金・負担金等 □ その他 ()									
本事業とSDGs(持続可能な開発目標)との関連性	□ ゴール1	貧困をなくそう	□ ゴール7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	□ ゴール13	気候変動に具体的な対策を				
	□ ゴール2	飢餓をゼロに	□ ゴール8	働きがいも経済成長も	□ ゴール14	海の豊かさを守ろう				
	□ ゴール3	すべての人に健康と福祉を	□ ゴール9	産業と技術革新の基盤をつくろう	□ ゴール15	陸の豊かさを守ろう				
	□ ゴール4	質の高い教育をみんなに	□ ゴール10	人や国の不平等をなくそう	□ ゴール16	平和と公正をすべての人に				
	□ ゴール5	ジェンダー平等を実現しよう	□ ゴール11	住み続けられるまちづくりを	□ ゴール17	パートナーシップで目標を達成しよう				
	□ ゴール6	安全な水とトイレを世界中に	□ ゴール12	つくる責任つかう責任						

前回評価の振り返り

評価年度 令和 4 年度	事業遂行に係る課題・改善点	⇒	課題解決に向けた具体的な方策等	⇒	左記に対する対応状況
最終判断 現状維持					

事業活動への投入コスト・人員【インプット】

予算額・執行額及び財源内訳（千円）

事業費の内訳

項目	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 要求	節	細節	事業費（千円）				摘要 ※代表的なものを簡潔に	
							R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 要求		
当初予算	8,624	8,654	9,218	10,667	例年支出のあるもの	委託料	8,624	8,654	9,580	10,667	伊予市立小学校空調和設備設置事業 維持管理業務委託料	
補正予算	0		362									
前年度から繰越	0											
予備費等	0											
計	8,624	8,654	9,580	10,667								
執行額	8,624	8,654	9,580									
翌年度へ繰越												
国庫支出金												
県支出金												
地方債												
その他												
一般財源	8,624	8,654	9,580	10,667								
執行率（%）	100.0%	100.0%	100.0%									
正規職員の人工数	0.20	0.20	0.20									
1人当たりの人件費単価	7,765	7,895	7,973	※予算ベース								
※執行額+人件費	10,177	10,233	11,175									
予算執行状況の特記事項	執行率70%以下の場合には必須その理由等を簡潔に入力											
事業費の総計							8,624	8,654	9,580	10,667		

事業活動の実績【アウトプット】

事業活動の成果【アウトカム】

活動指標	指標	項目	単位	目指す方向性	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	事業活動の成果【アウトカム】	
								事業遂行に係る工夫点・事業成果	事業遂行に係る課題・改善点
活動指標	指標①	設置室	室	—	153	153	153	事業遂行に係る工夫点・事業成果	子供たちと教職員の安全と健康を守るため、熱中症対策としての空調和設備の維持管理ができた。
	指標②							事業遂行に係る課題・改善点	物価変動による対応が必要。
	指標③							課題解決に向けた方策等	予算を追加補正、変更契約、支払いをしていく必要がある。
	指標④								

※ 目指す方向性が「-」の指標は、「事業把握のための実数」が入力されています。

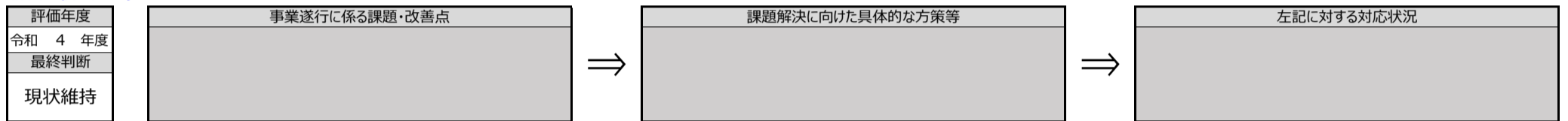
事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 8 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	中学校宮繕事業			会計区分	1	一般会計			所管部署	学校教育課		
事業番号	4400			予算科目	10 款 3 項 1 目 教育費			シート入力	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	
評価の種別	□ 詳細評価 □ 簡易評価（事業の概要・結果のみ）			事業区分	施設維持管理等事業			所属長名	谷仲	谷仲	小笠原	
総合計画での位置づけ	基本目標	生涯学習都市の創造		基本施策	学校教育環境の整備・充実		担当責任者	福岡	中塚	中塚		
根拠法令等	学校教育法5条、学校保健安全法第3章			事務担当者	水野		水野	水野				
関係する計画等	伊予市公共施設個別施設計画			事業の目的【ゴール】	対象	生徒		事業開始年度	□ 平成 17 年度 □ 令和 ※合併前からの継続事業は平成17年度と入力			
事業内容【アクティビティ】	意図	安全で安心して過ごせる学校施設の整備を図る。		事業終了年度(予定)	令和		年度(予定)	□ 設定なし				
事業の実施方法	□ 直営 □ 一部委託 □ 全部委託 □ 指定管理 □ 補助金・負担金等 □ その他 ()			事業内容	中学校施設及び設備の整備・改修							
本事業とSDGs(持続可能な開発目標)との関連性	<input type="checkbox"/> ゴール1 貧困をなくそう <input type="checkbox"/> ゴール2 飢餓をゼロに <input type="checkbox"/> ゴール3 すべての人に健康と福祉を <input checked="" type="checkbox"/> ゴール4 質の高い教育をみんなに <input type="checkbox"/> ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう <input type="checkbox"/> ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	<input type="checkbox"/> ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに <input type="checkbox"/> ゴール8 働きがいも経済成長も <input type="checkbox"/> ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう <input type="checkbox"/> ゴール10 人や国の不平等をなくそう <input type="checkbox"/> ゴール11 住み続けられるまちづくりを <input type="checkbox"/> ゴール12 つくる責任つかう責任	<input type="checkbox"/> ゴール13 気候変動に具体的な対策を <input type="checkbox"/> ゴール14 海の豊かさを守ろう <input type="checkbox"/> ゴール15 陸の豊かさを守ろう <input type="checkbox"/> ゴール16 平和と公正をすべての人に <input type="checkbox"/> ゴール17 パートナースHIPで目標を達成しよう									

前回評価の振り返り



事業活動への投入コスト・人員【インプット】

予算額・執行額及び財源内訳（千円）

事業費の内訳

項目	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 要求	節	細節	事業費（千円）				摘要 ※代表的なものを簡潔に	
							R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 要求		
当初予算	4,423	10,676	13,242	8,504	例年支出のあるもの	工事請負費	4,553	10,673	13,238	8,504	伊予中学校放送設備改良工事	
補正予算	0											
前年度から繰越	0											
予備費等	0											
計	4,423	10,676	13,242	8,504								
執行額	4,553	10,673	13,238									
翌年度へ繰越	0											
国庫支出金	0											
県支出金	0											
地方債	0											
その他	0											
一般財源	4,553	10,673	13,238	8,504								
執行率（%）	102.9%	100.0%	100.0%									
正規職員の人工数	0.20	0.20	0.20									
1人当たりの人件費単価	7,765	7,895	7,973	※予算ベース								
※執行額+人件費	6,106	12,252	14,833									
予算執行状況の特記事項 執行率70%以下の場合には必須その理由等を簡潔に入力												
事業費の総計							4,553	10,673	13,238	8,504		

事業活動の実績【アウトプット】

事業活動の成果【アウトカム】

活動指標	指標	項目	単位	目指す方向性	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	事業活動の成果【アウトカム】	
								事業遂行に係る工夫点・事業成果	事業遂行に係る課題・改善点
活動指標	指標①	工事実施数	工事	→	38	35	36	事業遂行に係る工夫点・事業成果	中学校からの依頼を受け、教育現場の意向を確認しながら手法、優先順位を考えて事業を行った。
	指標②							事業遂行に係る課題・改善点	学校施設は老朽化している一方、予算に限りがあるので理想的な修繕はできない。
	指標③							課題解決に向けた方策等	制限のある中でどう学校現場の満足度、安全性を確保していくか考慮した。
	指標④								

※ 目指す方向性が「-」の指標は、「事業把握のための実数」が入力されています。

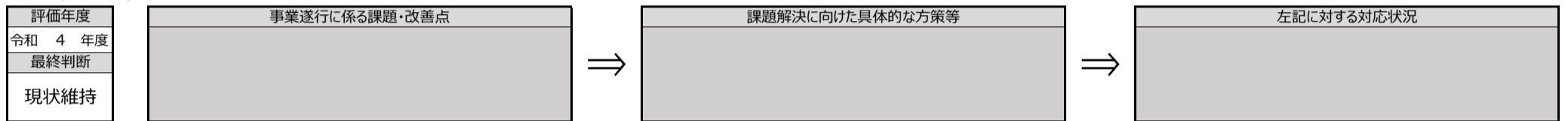
事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 8 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	中学校空気調和設備設置工事業			会計区分	1	一般会計	所管部署	学校教育課		
事業番号	4498			予算科目	10 款 3 項 3 目 教育費		シート入力	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度
評価の種別	□ 詳細評価 □ 簡易評価（事業の概要・結果のみ）			事業区分	施設維持管理等事業		所属長名	谷仲	谷仲	小笠原
総合計画での位置づけ	基本目標	生涯学習都市の創造		担当責任者	福岡	中塚	中塚			
根拠法令等	基本施策	学校教育環境の整備・充実		事務担当者	水野	水野	水野			
関係する計画等	伊予市公共施設個別施設計画			事業開始年度	□ 平成 17 年度 □ 令和 ※合併前からの継続事業は平成17年度と入力					
事業の目的【ゴール】	対象	生徒		事業終了年度(予定)	令和	年度(予定)	□ 設定なし			
事業内容【アクティビティ】	意図	快適な環境の提供		事業の実施方法	□ 直営 □ 一部委託 □ 全部委託 □ 指定管理 □ 補助金・負担金等 □ その他 ()					
事業内容【アクティビティ】 具体的な内容、どのような方法で実施しているのか	中学校4校 72室 事業者のDBO方式による維持管理			本事業とSDGs(持続可能な開発目標)との関連性	□ ゴール1 貧困をなくそう □ ゴール2 飢餓をゼロに □ ゴール3 すべての人に健康と福祉を □ ゴール4 質の高い教育をみんなに □ ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう □ ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	□ ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに □ ゴール8 働きがいも経済成長も □ ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう □ ゴール10 人や国の不平等をなくそう □ ゴール11 住み続けられるまちづくりを □ ゴール12 つくる責任つかう責任	□ ゴール13 気候変動に具体的な対策を □ ゴール14 海の豊かさを守ろう □ ゴール15 陸の豊かさを守ろう □ ゴール16 平和と公正をすべての人に □ ゴール17 パートナースHIPで目標を達成しよう			

前回評価の振り返り



事業活動への投入コスト・人員(インプット)

予算額・執行額及び財源内訳 (千円)

事業費の内訳

項目	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 要求	節	細節	事業費 (千円)				摘要 ※代表的なものを簡潔に	
							R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 要求		
当初予算	3,832	3,845	4,096	5,479	例年支出のあるもの	委託料	3,832	3,845	4,257	5,479	伊予市立中学校空気調和設備設置事業 維持管理業務委託料	
補正予算			161									
前年度から繰越												
予備費等												
計	3,832	3,845	4,257	5,479								
執行額	3,832	3,845	4,257									
翌年度へ繰越												
国庫支出金												
県支出金												
地方債												
その他												
一般財源	3,832	3,845	4,257	5,479								
執行率 (%)	100.0%	100.0%	100.0%									
正規職員の人工数	0.20	0.20	0.20									
1人当たりの人件費単価	7,765	7,895	7,973	※予算ベース								
※執行額+人件費	5,385	5,424	5,852									
予算執行状況の特記事項 執行率70%以下の場合には必須その理由等を簡潔に入力												
事業費の総計							3,832	3,845	4,257	5,479		

事業活動の実績(アウトプット)

事業活動の成果(アウトカム)

活動指標	指標	項目	単位	目指す方向性	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	事業活動の成果	
								事業遂行に係る工夫点・事業成果	事業遂行に係る課題・改善点
活動指標	①	設置室	室	→	72	72	72	事業遂行に係る工夫点・事業成果	子供たちと教職員の安全と健康を守るため、熱中症対策としての空気調和設備の維持管理ができた。
	②							事業遂行に係る課題・改善点	物価変動による対応が必要。
	③							課題解決に向けた方策等	予算を追加補正、変更契約、支払いをしていく必要がある。
	④								

※ 目指す方向性が「-」の指標は、「事業把握のための実数」が入力されています。

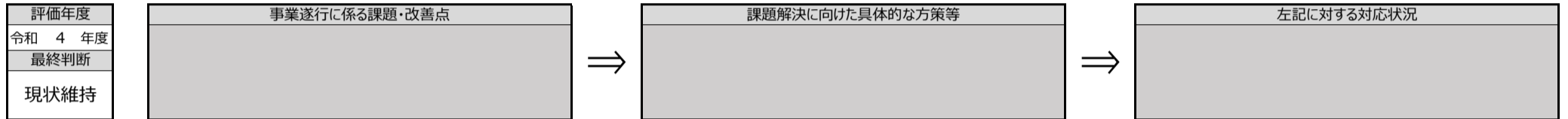
事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 8 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	中山地域事務所管理事業			会計区分	1	一般会計		所管部署	中山地域事務所								
事業番号	270			予算科目	2 款 1 項 8 目		総務費	シート入力	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度						
評価の種別	□ 詳細評価 □ 簡易評価（事業の概要・結果のみ）			事業区分	施設維持管理等事業			所属長名	山岡	太森	太森						
総合計画での位置づけ	基本目標	参画協働推進都市の創造		基本施策	効率的で透明性の高い行政運営			担当責任者	北岡	二宮	二宮						
根拠法令等	伊予市支所設置条例、同施行規則、庁舎管理規則							事務担当者	北岡	二宮	二宮						
関係する計画等	市民が必要とする行政情報を入手しやすくするとともに、暮らしの相談体制の充実により幅広く市民の声が行政に届く環境の整備																
事業の目的【ゴール】	対象	中山地域事務所（佐礼谷出張所含む）の維持管理						事業開始年度	□ 平成 17 年度 □ 令和 ※合併からの継続事業は平成17年度と入力								
目指すべき姿を簡潔に	意図	地域住民へのサービス及び事務事業に対応した事務所の維持管理						事業終了年度（予定）	令和	年度（予定） □ 設定なし							
事業内容【アクティビティ】	地域住民への窓口業務等事務事業に対応した快適で清潔な事務所の維持管理																
具体的な内容、どのような方法で実施しているのか																	
事業の実施方法	□ 直営 □ 一部委託 □ 全部委託 □ 指定管理 □ 補助金・負担金等 □ その他（ ）																
本事業とSDGs（持続可能な開発目標）との関連性	□ ゴール1 貧困をなくそう	□ ゴール2 飢餓をゼロに	□ ゴール3 すべての人に健康と福祉を	□ ゴール4 質の高い教育をみんなに	□ ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	□ ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	□ ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	□ ゴール8 働きがいも経済成長も	□ ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう	□ ゴール10 人や国の不平等をなくそう	□ ゴール11 住み続けられるまちづくりを	□ ゴール12 つくる責任つかう責任	□ ゴール13 気候変動に具体的な対策を	□ ゴール14 海の豊かさを守ろう	□ ゴール15 陸の豊かさを守ろう	□ ゴール16 平和と公正をすべての人に	□ ゴール17 パートナースhipで目標を達成しよう

前回評価の振り返り



事業活動への投入コスト・人員【インプット】

予算額・執行額及び財源内訳（千円）

事業費の内訳

項目	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 要求	節	細節	事業費（千円）				摘要 ※代表的なものを簡潔に
							R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 要求	
当初予算	8,969	10,433	9,557	31,241	旅費		0	0	0	2	普通旅費
補正予算	0	0	0	0	需用費	消耗品費	610	607	543	1,186	コピー料金、PPC用紙、事務用品等
前年度から繰越	0	0	0	0	需用費	燃料費	185	205	207	249	公用車がソリン代、佐礼谷支所ガス代
予備費等	0	0	0	0	需用費	印刷製本費	9	7	0	10	納入通知書等
計	8,969	10,433	9,557	31,241	需用費	光熱水費	1,946	1,971	1,985	2,543	電気料金、上下水道料金
執行額	8,316	9,649	8,292		需用費	修繕料	66	82	100	639	地域事務所施設内機器修繕等
翌年度へ繰越	0	0	0		役務費	通信運搬費	390	381	406	420	電話料金、郵便料金
国庫支出金	0	0	0	0	役務費	手数料	354	585	395	497	ごみ収集運搬、中水貯水槽点検手数料等
県支出金	0	0	0	0	委託料		4,365	4,474	4,235	4,331	地域事務所・佐礼谷支所施設維持管理業務等
地方債	0	0	0	17,500	使用料及び賃借料		192	197	200	209	N H K放送受信料、玄関マットリース料等
その他	178	1,279	95	95							
一般財源	8,138	8,370	8,197	13,646							
執行率（%）	92.7%	92.5%	86.8%								
正規職員の人工数	0.23	0.24	0.24								
1人当たりの人件費単価	7,765	7,895	7,973	※予算ベース							
※執行額+人件費	10,102	11,544	10,206		臨時 的 な も の	備品購入費	199		213	1,623	R 8 軽トラック、R 7 事務用イス、R 6 チェーンソー 等
予算執行状況の特記事項						工事請負費		1,140		19,481	R 8 中山地域事務所高効率照明等改修工事、中山地域事務所等電話設備更新工事
執行率70%以下の場合には必須その理由等を簡潔に入力						負担金・補助及び交付金			8	8	防火管理者講習受講料
						役務費				36	自賠責保険料、自動車損害共済基金分担金
						公課費				7	重量税
						事業費の総計	8,316	9,649	8,292	31,241	

事業活動の実績【アウトプット】

事業活動の成果【アウトカム】

活動指標	項目	単位	目指す方向性	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	事業遂行に係る工夫点・事業成果	事業遂行に係る課題・改善点	課題解決に向けた方策等
指標②	事務所管理の修繕料	千円	→	66	82	100		現地域事務所が建築され10年以上経過し建物内外に故障箇所等がでてきている。適正な維持管理を行うとともに、大規模な改修が必要になる前に早期発見、早期対応をおこなっていく必要がある。	
指標③	事務所管理の委託料	千円	→	4,365	4,474	4,235			
指標④									建物内外の異常個所等の早期発見、早期対応に努め、今後も継続して最小の予算で最大の効果を目指し努める。

※ 目指す方向性が「-」の指標は、「事業把握のための実数」が入力されています。

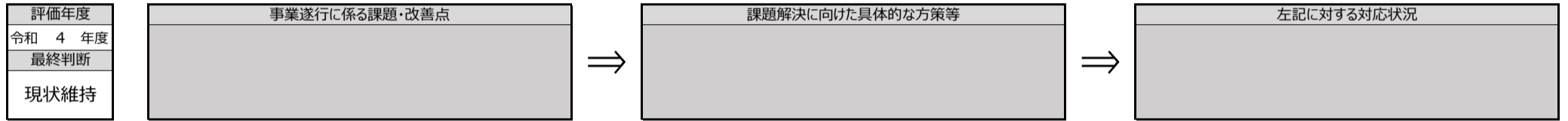
事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 8 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	中山交流センター管理事業			会計区分	1	一般会計	所管部署	中山地域事務所									
事業番号	495			予算科目	2 款 1 項 14 目 総務費		シート入力	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度							
評価の種別	□ 詳細評価 □ 簡易評価（事業の概要・結果のみ）			事業区分	施設維持管理等事業		所属長名	山岡	太森	太森							
総合計画での位置づけ	基本目標	参画協働推進都市の創造		基本施策	効率的で透明性の高い行財政運営		担当責任者	北岡	二宮	二宮							
根拠法令等	伊予市中山教育・文化・防災・交流センター管理規則、伊予市庁舎管理規則						事務担当者	北岡	二宮	二宮							
関係する計画等	伊予市シティプロモーション基本方針「アクションプラン」に位置付けられた推進事業						事業開始年度	□ 平成 30 年度 □ 令和 ※合併前からの継続事業は平成17年度と入力									
事業の目的【ゴール】	対象	伊予市中山教育・文化・防災・交流センター		意図	中山エリアの振興・活性化に資する取組拠点である伊予市中山教育・文化・防災・交流センターの維持管理に必要な経費を計上し適正管理に努める。		事業終了年度（予定）	令和	年度（予定） □ 設定なし								
事業内容【アクティビティ】	旧中山高等学校施設の一部を適正管理する経費を計上した内部的な事業である。施設大半は、学校法人河原学園に使用貸借契約に基づく貸付をおこなっており、河原学園が算出する建物使用割合（本市使用部分の床面積）による光熱水費負担分等、必要最小限経費を予算化しているものである。						事業の実施方法	□ 直営 □ 一部委託 □ 全部委託 □ 指定管理 □ 補助金・負担金等 □ その他 （ ）									
事業の実施方法	□ 直営 □ 一部委託 □ 全部委託 □ 指定管理 □ 補助金・負担金等 □ その他 （ ）																
本事業とSDGs（持続可能な開発目標）との関連性	□ ゴール1 貧困をなくそう	□ ゴール2 飢餓をゼロに	□ ゴール3 すべての人に健康と福祉を	□ ゴール4 質の高い教育をみんなに	□ ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	□ ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	□ ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	□ ゴール8 働きがいも経済成長も	□ ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう	□ ゴール10 人や国の不平等をなくそう	□ ゴール11 住み続けられるまちづくりを	□ ゴール12 つくる責任つかう責任	□ ゴール13 気候変動に具体的な対策を	□ ゴール14 海の豊かさを守ろう	□ ゴール15 陸の豊かさを守ろう	□ ゴール16 平和と公正をすべての人に	□ ゴール17 パートナーシップで目標を達成しよう

前回評価の振り返り



事業活動への投入コスト・人員【インプット】

予算額・執行額及び財源内訳（千円）

事業費の内訳

項目	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 要求	節	細節	事業費（千円）				摘要 ※代表的なものを簡潔に
							R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 要求	
当初予算	269	274	274	1,960	需用費	消耗品費	9	55	68	362	チップソー代、除草剤代、R 8 防草シート代等
補正予算	0	0	589			燃料費	4	2	4	17	混合油代
前年度から繰越	0	0				修繕料	0	0	0	100	
予備費等	0	0				負担金・補助及び交付金	負担金	84	76	88	84
計	269	274	863	1,960							
決算執行額	97	133	808								
翌年度へ繰越	0	0	0								
財源内訳											
国庫支出金	0	0	0								
県支出金	0	0	0								
地方債	0	0	0								
その他	0	0	0								
一般財源	97	133	808	1,960							
執行率（%）	36.1%	48.5%	93.6%								
正規職員の人工数	0.09	0.11	0.11								
1人当たりの人件費単価	7,765	7,895	7,973	※予算ベース							
※執行額+人件費	796	1,001	1,685		委託料				648	1,397	R 7 低高度PCB廃棄物収集運搬・処分業務、R 8 グラウンド木伐採業務
予算執行状況の特記事項	令和5年度実績及び令和6年度実績における執行率が70%以下になった要因は、修繕料の予算執行がなかったことが要因である。（令和5年度予算総額における修繕料の割合は約37%、令和6年度予算総額における修繕料の割合は約36%）										
執行率70%以下の場合には必須その理由等を簡潔に入力											
事業費の総計							97	133	808	1,960	

事業活動の実績【アウトプット】

事業活動の成果【アウトカム】

活動指標	項目	単位	目指す方向性	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	事業遂行に係る工夫点・事業成果	事業遂行に係る課題・改善点	課題解決に向けた方策等
指標②									
指標③									
指標④									

※ 目指す方向性が「-」の指標は、「事業把握のための実数」が入力されています。